

## 東京解剖図鑑 流行Trend

週休2日制が導入される前、連休は年間10回もなかった。それが現在は60回近く。スーパーマンデーのおかげで3連休も増えた。お父さんが子どもに「どっか連れてって〜！」とせがまれる回数も増えたことだろう。

そんな需要を狙って「ファミリー向けビジネスホテル」とでもいべき格安ホテルが誕生。

連日ほぼ満室の人気である。

JR大崎駅近くの「ファミリーイン・フィフティーズ」=写真、03(3490)0050、<http://www.fiftys.com>。家族3人で朝食付き1泊9000円。なんと1人3000円ですむ。

欧米ではこの手のホテルは珍しくないが、日本ではなかなか実現できなかった。人件費が高いからだ。そこでこのホテルを運営するエム・エイチ・ディベロップメントの梶川文明社長は徹底的なコスト削減を考えた。まずは建設費。人件費の安いタ



**1泊9000円価格破壊  
家族用ホテル大もて**

イで1部屋ずつ内装も作り、コンテナで運んで組み立てる。次に運営費は無人化によって削減。ホテルマンは1店1人だが、チェックインも支払いも、コンピューターが行う。実は先の宿泊費もインターネット予約の場合、電話予約だと1000円高い。

ファミリーだけでなく、都心で時間を気にせず思う存分遊びたかった近郊在住の主婦グループにも好評。次はベイエリアにもオープン予定とか。連休でなくても気軽に外泊する家族が増えそうだ。(村手久枝)